

作成日 2024/07/11

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	塗装ブースガードE
供給者の会社名称	北海道防錆ペイント株式会社
住所	北海道小樽市港町6番4号3階
電話番号	0134-65-7401
推奨用途	塗料
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康有害性	急性毒性(吸入:蒸気) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 生殖細胞変異原性 区分1B 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性液体及び蒸気 皮膚刺激 強い眼刺激 吸入すると有害 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ 遺伝性疾患のおそれ 発がんのおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。

	<p>防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。</p> <p>火花を発生させない工具を使用すること。</p> <p>静電気放電に対する措置を講ずること。</p> <p>粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</p>
応急措置	<p>環境への放出を避けること。</p> <p>保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。</p> <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。</p> <p>皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。</p> <p>気分が悪いときは医師に連絡すること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。</p> <p>皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。</p> <p>火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。</p> <p>漏出物を回収すること。</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
保管	<p>換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。</p> <p>内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。</p> <p>専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報
化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
アルキルアセタール化ポリビニルアルコール	10%	特定できない	(6)-708	既存	63148-65-2

ひまし油	1%	CxHyOz	—	—	8001-79-4
エポキシ化大豆油	1%	特定できない	(2)-1434	既存	8013-07-8
酸化チタン	20%	O2Ti	(1)-558,(5)-5225	既存	13463-67-7
非晶質シリカ	1%	O, Si	—	—	112926-00-8
石油ナフサ H	3.1%	特定できない	(3)-7	既存	64742-94-5
アルキルシクロヘキサン	10%	CxHy	—	—	64742-48-9
ナフタレン	0.5%	C10H8	(4)-311	既存	91-20-3
エチルアルコール	0.1%	C2H6O	(2)-202	既存	64-17-5
ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	3%	C8H16O4	(2)-744	既存	112-15-2
エチルエトキシプロピオネート	15%	C7H14O3	(2)-1350,(2)-1379	2-(6)-147	763-69-9
酢酸ブチル	12%	C6H12O2	(2)-731	既存	123-86-4
酢酸イソブチル	20%	C6H12O2	(2)-731	既存	110-19-0
グルタル酸ジメチル	3.3%	C7H12O4	(2)-857,(2)-925	既存	1119-40-0

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項) ナフタレン(政令番号:76)

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) エタノール(政令番号:61)(10%未満)

ナフタレン(政令番号:408)(10%未満)

酸化チタン(IV)(政令番号:191)(20%~30%)

酢酸ブチル(政令番号:181)(30%~40%)

石油ナフサ(政令番号:330)(10%~20%)

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合
眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引などの危険が増す。直ちに医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。

被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

棒状注水。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

有害でなければ、火気、換気などに充分注意して蒸発、拡散させる。又は、散水して蒸発を促進させてもよい。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策

容器を接地すること。アースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

火気厳禁
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
涼しい所に置くこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

接触回避
衛生対策
安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い後はよく手を洗うこと。

火気厳禁
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

保管

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
アルキルアセタール化ポリビニルアルコール	未設定	未設定	未設定
ひまし油	未設定	未設定	未設定
エポキシ化大豆油	未設定	未設定	未設定
酸化チタン	未設定	0.3mg/m ³ ;【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵4mg/m ³	設定あり(*)
非晶質シリカ	未設定	未設定	未設定
石油ナフサ H	未設定	未設定	未設定
アルキルシクロヘキサン	未設定	未設定	未設定
ナフタレン	10ppm	未設定	設定あり(*)
エチルアルコール	未設定	未設定	設定あり(*)
ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	未設定	未設定	未設定
エチルエトキシプロピオネート	未設定	未設定	未設定
酢酸ブチル	150ppm	100ppm(475mg/m ³)	設定あり(*)
酢酸イソブチル	150ppm	未設定	設定あり(*)
グルタル酸ジメチル	未設定	未設定	未設定

*)ACGIHの設定値は下記URLからご確認ください。

参照先 : <https://www.acgih.org/>

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
アルキルアセタール化ポリビニルアルコール	未設定	未設定
ひまし油	未設定	未設定
エポキシ化大豆油	未設定	未設定
酸化チタン	未設定	未設定
非晶質シリカ	未設定	未設定
石油ナフサ H	未設定	未設定
アルキルシクロヘキサン	未設定	未設定
ナフタレン	未設定	未設定
エチルアルコール	未設定	未設定
ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	未設定	未設定
エチルエトキシプロピオネート	未設定	未設定
酢酸ブチル	未設定	未設定
酢酸イソブチル	未設定	未設定
グルタル酸ジメチル	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具	呼吸用保護具	機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。 リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
	形状	粘稠液体
色		白色
臭い		溶剤臭
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		29.6°C (使用溶剤のデータ引用)
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分4:ナフタレン(毒性値=490mg/kg 出典:NITE)
------	----	---------------------------------

区分に該当しない:酢酸イソブチル(毒性値=13400mg/kg 出典:NITE), 酢酸ブチル(毒性値=10736mg/kg 出典:NITE), エチルアルコール(毒性値=6200mg/kg 出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(毒性値=5110mg/kg 出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(毒性値=5000mg/kg 出典:NITE), 石油ナフサ H(毒性値=3690mg/kg 出典:NITE)

分類できない:ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

計算結果が14751.5184962mg/kgのため、区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

経皮

区分に該当しない:酢酸イソブチル(毒性値=17400mg/kg 出典:NITE), 酢酸ブチル(毒性値=17600mg/kg 出典:NITE), エチルアルコール(毒性値=20000mg/kg 出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(毒性値=5000mg/kg 出典:NITE), ナフタレン(毒性値=2500mg/kg 出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(毒性値=9500mg/kg 出典:NITE), 石油ナフサ H(毒性値=4100mg/kg 出典:NITE)

分類できない:ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

吸入

(急性毒性(吸入:気体))

GHS定義による気体ではない。

(急性毒性(吸入:蒸気))

区分4:酢酸イソブチル(毒性値=4000ppm 出典:NITE)

区分に該当しない:エチルアルコール(毒性値=63000ppm 出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE)

分類できない:酢酸ブチル(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

計算結果が4020mg/kgのため、区分4に該当する。

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))

区分に該当しない:酢酸イソブチル(毒性値=21.3mg/l 出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE)

分類できない:酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

区分2:アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

区分に該当しない:酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE)

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP))

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。

区分2:ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

区分2B:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE)

分類できない:酸化チタン(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP))

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

眼区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当。

データ不足のため分類できない。

区分1:ナフタレン(出典:NITE)

区分に該当しない:酸化チタン(出典:NITE)

皮膚腐食性／刺激性

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

呼吸器感作性
皮膚感作性

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。

※分類に寄与しない成分:

ナフタレン(区分1 出典:NITE)

区分1B:アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP))

区分に該当しない:ナフタレン(出典:NITE), 石油ナフサ H(出典:NITE)

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

アルキルシクロヘキサン $\geq 0.1\%$ のため、区分1Bに該当。

区分1A:エチルアルコール(出典:NITE)

区分1B:アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP))

区分2:酸化チタン(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE)

区分に該当しない:石油ナフサ H(出典:NITE)

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

エチルアルコール $\geq 0.1\%$ のため、区分1Aに該当。

※分類に寄与しない成分:

ナフタレン(区分2 出典:NITE)

(生殖毒性)

区分1A:エチルアルコール(出典:NITE)

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ナフタレン(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。

※分類に寄与しない成分:

エチルアルコール(区分1A 出典:NITE)

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

区分1:ナフタレン(臓器=眼、血液、気道 出典:NITE)

区分3:酢酸イソブチル(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE), 酢酸ブチル(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE), エチルアルコール(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE), 非晶質シリカ(臓器=気道刺激性 出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(臓器=麻酔作用 出典:NITE), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール(臓器=気道刺激性), 石油ナフサ H(臓器=麻酔作用、気道刺激性 出典:NITE)

分類できない:酸化チタン(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP))

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

区分3(麻酔作用)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。

区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1:エチルアルコール(臓器=肝臓 出典:NITE), 酸化チタン(臓器=呼吸器 出典:NITE), ナフタレン(臓器=眼、血液、呼吸器 出典:NITE)

区分2:エチルアルコール(臓器=中枢神経系 出典:NITE)

分類できない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール, 石油ナフサ H(出典:NITE)

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

酸化チタン \geq 10%のため、区分1(呼吸器)に該当。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

区分1:ナフタレン(出典:NITE), 石油ナフサ H(出典:NITE)

区分3:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE)

区分に該当しない:エチルアルコール(出典:NITE), 酸化チタン(出典:NITE), 非晶質シリカ(出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE)

分類できない:ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

(毒性乗率 \times 10 \times 区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1:ナフタレン(出典:NITE), 石油ナフサ H(出典:NITE)

区分4:酸化チタン(出典:NITE)

区分に該当しない:酢酸イソブチル(出典:NITE), 酢酸ブチル(出典:NITE), エチルアルコール(出典:NITE), エチルエトキシプロピオネート(出典:NITE)

分類できない:非晶質シリカ(出典:NITE), ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(出典:Registered substances (ECHA)), アルキルシクロヘキサン(出典:1272/2008/EC (CLP)), アルキルアセタール化ポリビニルアルコール

データなし:グルタル酸ジメチル, ひまし油, エポキシ化大豆油

(毒性乗率 \times 10 \times 区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
UN No.	1263
Proper Shipping Name	PAINT
Class	3
Packing Group	II
Marine Pollutant	Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	Not applicable

国内規制

Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
UN No.	1263
Proper Shipping Name	PAINT
Class	3
Packing Group	II
陸上規制	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1263
品名	塗料
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

特別の安全対策

航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1263
品名	塗料
国連分類	3
等級	II
緊急時応急措置指針番号	128

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードを携行する。

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該非	
労働安全衛生法(通知対象物質)	該当
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)	非該当

特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

非該当

適用される主たる国内法令
化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)(ナフタレン)

労働安全衛生法

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤
中毒予防規則第1条第1項第4号)(酢酸ノルマル
ブチル、酢酸イソブチル)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57
条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
(酸化チタン(IV)、石油ナフサ、エタノール、酢酸ブ
チル、酢酸ブチル)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57
条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号
別表第9)(酸化チタン(IV)、石油ナフサ、ナフタレ
ン、エタノール、酢酸ブチル、酢酸ブチル)

消防法

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質(安
衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発
0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・
4該当物質の一覧)(エチル=3-エトキシプロパ
ノール)

第四類引火性液体、第二石油類非水溶性液体(法
第2条第7項別表第1第4類の項第4号備考第14
号)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
(中央環境審議会第9次答申)(ナフタレン)

船舶安全法

引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第
1)

航空法

引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表
第1)

廃棄物の処理及び清掃に
関する法律

特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2
条の4)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35
条別表第1の2第4号1)(酢酸ブチル、酢酸ブチ
ル)

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第
35条別表第1の2第7号)(すす、鉱物油、タール、
ピッチ、アスファルト又はパラフィン)

労働安全衛生法に基づく
ラベル表示・SDS交付等
の義務対象物質(令和8
年4月1日施行予定分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57
条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
(非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限
る。)、3-エトキシプロパン酸エチル)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57
条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第
9)(非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限
る。)、3-エトキシプロパン酸エチル)

16. その他の情報

連絡先
参考文献

北海道防錆ペイント株式会社
NITE GHS分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。